



進路だより

6月16日(木)

No. 10

第二中学校進路

自分の進路と向き合う

楽しかった修学旅行が終わり、そろそろ進路についてもじっくりと向き合っていかなければいけませんね。これまでの進路学活では、入試のシステムや、様々な進路における選択肢、学校の種類などを学んできました。まだまだよくわからないこともたくさんあると思いますが、今回の進路選択は人生において非常に大きなものです。これまでも、部活を選んだり、行事ごとで何をするか選んだり、多くの選択肢の中から自分の道を選んできたことはあったと思いますが、それとは大きく異なります。進学するのであれば、今後の3年(4年)間、就職する場合はもっと長い時間を左右するものになるからです。しっかりと考えて自分で納得のいく答えを出しましょう。

第一回進路希望調査

本日配布された「第一回進路希望調査」は、7月に行われる三者懇談で使う大切な資料となります。以下の4つのことをよくよく考えて提出してください。

○必ず保護者と話し合いの場を持つこと

みなさんの進路を選ぶのはみなさん自身です。しかし、進学するにしても、就職するにしてもみなさんの意思だけではどうにもならない部分がたくさんあります。特に進学する場合、保護者の力なしでは受験することすらできません。しっかりと保護者と話し合い、進路実現に向けてお互い納得の行く答えを導き出せるようにしましょう。

○点数だけで進路を考えない

もちろん学力は今後の進路を選ぶ上で必ず考えなければいけない一つの条件となってきます。が、この時点で学力にしばられる必要はありません。それよりも卒業したのち何がしたいのか、どんな学校に行きたいのか、進学してどのような高校生活を送りたいのか、部活を頑張りたいと思うなら自分のしたい部活がその学校にあるのか、などを考えましょう。目標が決まればまだまだ学力は伸ばすことができます。頑張ろうと思える何かを見つけることが一番大切です。

○わからなくてもOK!何がわからないかを見つけよう

今回の進路希望調査は、みなさんにとっても初めてのものです。進路についてまだまだわからないことも多いと思います。なのでまずは自分の未来について考えることが大切。学習においても同じことが言えますが、何がわからないかをしっかりと自分で把握しましょう。今志望校が決まっていないということは決して恥ずかしいことではないからね。

○締切厳守!絶対!

進路希望調査に限らず、進路関係書類は絶対に遅れないこと。今後、1日でも遅れたら入試やみんなの進路に大きく影響を及ぼす書類がたくさん出てきます。締切には細心の注意を払って、早め早めの提出を心がけてください。

What's next 次号こそは、「高専」について詳しく説明します!お楽しみに!